

**大会長講演：9月19日(木) 09：40～10：40 A会場（2F／大ホール）**

座長：鈴木 政登（東京慈恵会医科大学）

「健康，未病，病気，従病の精神とメディカルフィットネス」

演者：田中 喜代次（筑波大学名誉教授）

**基調講演：9月19日(木) 10：50～11：50 A会場（2F／大ホール）**

座長：田中 喜代次（筑波大学）

「運動実践時における内服薬の重要性」

演者：秋下 雅弘（東京大学大学院医学系研究科加齢医学）

**日本体力医学会学会賞受賞論文表彰および講演**

9月20日(金) 14：00～14：30 A会場（2F／大ホール）

座長：前田 清司（筑波大学体育系，学術委員会学会賞選考委員長）

学会賞(JPFMSM)：The effect of advanced glycation end products on cellular signaling molecules in skeletal muscle

Tatsuro Egawa (*Laboratory of Health and Exercise Sciences, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Laboratory of Sports and Exercise Medicine, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Department of Physiology, Graduate School of Health Sciences, Toyohashi SOZO University*)

奨励賞：競技力が高いサッカー選手の状況判断時における脳内情報処理過程

－事象関連電位と筋電図反応時間を指標として－

松竹 貴大（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

奨励賞：Reduction of voluntary physical activity in mice induced by toll-like receptor 7 agonist R-848

Eri Oyanagi (*Department of Health and Sports Science, Kawasaki University of Medical Welfare*)

奨励賞：Effects of eicosapentaenoic acid intake on denervation-induced mitochondrial adaptation in mouse skeletal muscle

Kohei Takeda (*Graduate School of Comprehensive Human Science, University of Tsukuba*)**教育講演1：9月20日(金) 10：40～11：40 A会場（2F／大ホール）**

座長：田中 喜代次（筑波大学）

「生涯現役社会の構築 — 疾患の性質変化と医療の在り方 —」

演者：江崎 禎英（経済産業省商務・サービスグループ政策統括調整官，厚生労働省医政局統括調整官，内閣官房健康・医療戦略室次長）

**教育講演2：9月20日(金) 10：40～11：40 B会場（3F／中ホール300）**

座長：中田 由夫（筑波大学）

「運動中の心停止に関する疫学」

演者：清原 康介（大妻女子大学家政学部食物学科公衆衛生学研究室）

共催：日本疫学会

**教育講演3：9月20日(金) 10：40～11：40 C会場（1F／大会議室102）**

座長：宮崎 照雄（東京医科大学茨城医療センター）

「脂肪組織の質と量を転換させる運動療法の分子基盤」

演者：井澤 鉄也（同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科）

**教育講演4：9月20日(金) 10：40～11：40 D会場（2F／中ホール200）**

座長：久野 譜也（筑波大学）

「運動と慢性腎臓病——腎臓リハビリテーションとは」

演者：山縣 邦弘（筑波大学医学医療系腎臓内科学）

**教育講演5：9月21日(土) 10：40～11：40 A会場（2F／大ホール）**

座長：後藤 勝正（豊橋創造大学大学院）

「エキセントリック運動による筋損傷と適応—これまでの研究と今後の展望」

演者：野坂 和則（Edith Cowan University (Australia)）

**トークセッション：9月20日(金) 14:40~15:40 A会場 (2F/大ホール)**

座長：平岡 拓晃 (筑波大学)

「私とスペシャルオリンピックス活動」

演者：有森 裕子 (スペシャルオリンピックス日本)

**JPFSM & IBRO Session 1：9月19日(木) 09:00~10:00 D会場 (2F/中ホール200)**

「Sports performance and neurorehabilitation」

Chair：Ryoichi Nagatomi (Tohoku University), Hidefumi Waki (Juntendo University)

1. Brain recovery from sports related concussion: Is there a new normal?  
Speaker：Naznin Virji-Babul (University of British Columbia, Vancouver, B.C., Canada)
2. Paralympic brain -compensation and reorganization in human brain-  
Speaker：Kimitaka Nakazawa (The University of Tokyo, Department of Integrated Sciences)

**JPFSM & IBRO Session 2：9月19日(木) 10:00~11:00 D会場 (2F/中ホール200)**

Chair：Zsolt Radak (University of Physical Education)

「Physical activity and muscle-brain crosstalk」

Speaker：Henriette van Praag (Brain Institute and Charles E. Schmidt College of Medicine, Florida Atlantic University, Jupiter, FL 33458, USA)

**JPFSM & IBRO Session 3：9月19日(木) 11:00~11:50 D会場 (2F/中ホール200)**

Chair：Hideaki Soya (University of Tsukuba)

「Walking Towards a Healthy Brain and Mind」

Speaker：Art F. Kramer (Northeastern University)

**シンポジウム1：9月19日(木) 10:20~11:50 B会場 (3F/中ホール300)**

「眼底循環に加齢や生活習慣が与える影響」

座長：林 直亨 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院), 長岡 泰司 (日本大学医学部)

1. 眼循環調節の生理的機構  
演者：長岡 泰司 (日本大学医学部視覚科学系眼科学分野)
2. 眼血流測定による動脈硬化予測, 性差の検討  
演者：柴 友明 (東邦大学医療センター大森病院)
3. 一過性の運動に伴う眼底循環の応答  
演者：池村 司 (横浜商科大学)
4. 加齢や生活習慣が眼底の血管機能に及ぼす影響について  
演者：宮路 茜 (東京医療保健大学医療栄養学科)

**シンポジウム2：9月19日(木) 10:20~11:50 C会場 (1F/大会議室102)**

「未来の骨格筋治療の可能性に迫る」

座長：高田 真吾 (北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科)

清水 逸平 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学先進老化制御学講座)

1. DNA損傷依存的エピゲノム変化による老化誘導と身体機能低下の分子機構  
演者：早野 元詞 (慶應義塾大学医学部)
2. 老化促進代謝物質を介した加齢同期メカニズムの解明  
演者：清水 逸平 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学先進老化制御学講座)
3. 骨格筋におけるステロイド作用の解明から生体システムの統合的理解へ  
演者：山崎 広貴 (東京大学医科学研究所附属病院アレルギー免疫科)
4. 心不全の骨格筋異常における治療法の開発  
演者：高田 真吾 (北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科)

**シンポジウム3：9月19日(木) 13:00~14:30 A会場 (2F/大ホール)**

「筋・血管・脳の観点から老化の機構と防止方法を考える～加齢性疾患を克服するための運動・食事処方の探索～」

座長：江島 弘晃 (ユタ大学), 川中 健太郎 (福岡大学)

1. サルコペニアの分子メカニズムとその軽減方法  
演者：佐久間 邦弘 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院)

2. 加齢に伴う筋力低下のメカニズム～肥満による筋細胞内脂質の蓄積との関連性～  
演者：江島 弘晃（ユタ大学）
3. 動脈硬化性疾患を運動が抑制する新規メカニズム～骨格筋でのPGC-1 $\alpha$ の発現増加が動脈硬化の進展を抑制する～  
演者：三浦 進司（静岡県立大学食品栄養科学部）
4. 認知機能の老化を防ぐ運動処方を考える  
演者：兵頭 和樹（明治安田厚生事業団体力医学研究所）

#### シンポジウム4：9月19日(木) 13：00～14：30 B会場（3F／中ホール300）

「職域における身体活動・運動と健康経営・働き方改革」

座長：江口 泰正（産業医科大学産業保健学部），甲斐 裕子（明治安田厚生事業団体力医学研究所）

1. 労働者の体力と健康や寿命に関する疫学研究  
演者：澤田 亨（早稲田大学）
2. 「職場を健康増進の拠点」とするための労働体力科学研究  
演者：松尾 知明（労働安全衛生総合研究所産業疫学研究グループ）
3. 運動継続に向けた行動科学的アプローチ法  
演者：江口 泰正（産業医科大学産業保健学部）
4. 労働者の座りすぎと健康－ワークスタイルのスポーツ化への挑戦－  
演者：甲斐 裕子（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所）

#### シンポジウム5：9月19日(木) 13：00～14：30 C会場（1F／大会議室102）

「骨格筋の修復・再生システムの分子細胞基盤」

座長：小野 悠介（熊本大学発生医学研究所），河野 史倫（松本大学大学院健康科学研究科）

1. 筋発生・再生過程における骨格筋細胞の分化制御機構  
演者：林 晋一郎（国立精神神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）
2. 再生筋線維の肥大応答性を制御するエピジェネティック機構  
演者：河野 史倫（松本大学大学院健康科学研究科）
3. 筋線維タイプから見る筋衛星細胞の機能  
演者：本橋 紀夫（東京都健康長寿医療センター）
4. ポジショナルメモリーから捉える骨格筋の修復・再生メカニズム  
演者：小野 悠介（熊本大学発生医学研究所筋発生再生分野）

#### Symposium 6：9月19日(木) 13：00～14：30 D会場（2F／中ホール200）

「Research exchange between Japan and Korea in the field of physical fitness and sports medicine」

Chair：Takayuki Akimoto（Waseda University），Hoseong Lee（Dankook University）

1. The potential for exercise and physical exercise to reduce the risk of dementia and frailty  
Speaker：Hyuntae Park（Department of Healthcare and Science Dong-A University）
2. Older Korean adults have lower physical function despite longer exercise times compared to their Japanese counterparts: A Japan-Korea comparative study  
Speaker：Songee Jung（Hirotsuki University）
3. Increased maximum muscle strength and reduced muscle damage in elite weightlifters following low-load, high-repetition resistance training  
Speaker：Jung-Hoon Koo（Korea National Sport University）
4. Role of local steroidogenesis in skeletal muscle  
Speaker：Katsuji Aizawa（Senshu University Institute of Sport）
5. Exercise Preconditioning may Attenuate Host Response to CLP-induced Sepsis in Wild-Type Mice  
Speaker：Hyunsik Kang（College of Sport Science, Sungkyunkwan University）
6. Functions of miR-23-27-24 cluster miRNAs in skeletal muscle plasticity  
Speaker：Minjung Lee（Waseda University）

#### シンポジウム7：9月19日(木) 14：40～16：10 A会場（2F／大ホール）

「地域在住高齢者への遠隔運動指導によるフレイル改善効果：無作為割付介入試験」

座長：熊谷 秋三（九州大学キャンパスライフ・健康支援センター，九州大学大学院人間環境学府）  
小池 城司（福岡大学西新病院）

- 糸島フレイル疫学研究の概要とIoTを用いたコホート内介入研究のロジックモデル  
演者：熊谷 秋三（九州大学キャンパスライフ・健康支援センター，九州大学大学院人間環境学府）
- フレイルとその構成因子の改善に対する遠隔運動プログラムの影響：糸島フレイル介入研究  
演者：岸本 裕歩（九州大学基幹教育院自然科学理論系部門）
- IoTを用いた糸島フレイル介入研究（遠隔運動+身体活動変容プログラム）の効果：身体活動・座位行動への影響  
演者：山津 幸司（佐賀大学教育学部，佐賀大学大学院医学系研究科）
- フレイル予防事業における介護給付費の抑制効果の将来推計および予防事業の事業継続性の考察：糸島フレイル介入研究  
演者：南 伸太郎（ラボラトリオ株式会社代表取締役）

### シンポジウム8：9月19日(木) 14：40～16：10 B会場（3F／中ホール300）

「生涯にわたるスポーツ活動への提言－右肩下がりの生涯スポーツ活動を考える－」

座長：田中 喜代次（筑波大学），齊藤 秀之（公益社団法人日本理学療法士協会）

- 生涯にわたり，誰もが運動・スポーツを楽しむことができる社会づくりに向けた取り組み  
演者：小澤 多賀子（茨城県立健康プラザ）
- 障害を有する者のスポーツ活動と体力特性  
演者：永井 智（つくば国際大学医療保健学部理学療法学科）
- 最後まで人間らしくあるために～シルバーリハビリ体操指導士養成事業の全国展開の取り組み～  
演者：大西 耕平（（公社）日本理学療法士協会）
- 生涯スポーツ活動及び運動が呼吸機能に与える効果を考える  
演者：富田 和秀（茨城県立医療大学理学療法学科）

### シンポジウム9：9月19日(木) 14：40～16：10 C会場（1F／大会議室102）

「子供の健全な発育発達と生活習慣・運動を考える」

座長：渡辺 一志（大阪市立大学都市健康・スポーツ研究センター）

本宮 暢子（アリゾナ大学Department of Nutritional Sciences）

- Bone health in growing young girls: Effect of cardiometabolic risk factors on the relationship between adiposity and bone mass  
演者：Scott Going（The University of Arizona）
- 子どもの食習慣改善におけるスポーツ食育の実践  
演者：田口 素子（早稲田大学スポーツ科学学術院）
- 子どもの慢性疲労と脳機能への影響  
演者：水野 敬（国立研究開発法人理化学研究所健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム健康計測解析チーム）
- 中学・高校生期に求められる身体活動・運動量  
演者：岡崎 和伸（大阪市立大学都市健康・スポーツ研究センター）

### Symposium10：9月19日(木) 14：40～16：10 D会場（2F／中ホール200）

「Global trends in sports injury prevention, rehabilitation, and return to play. – Reports by U.S. experts –」

Chair：Koichi Watanabe（University of Tsukuba），Kentaro Onishi（University of Pittsburgh）

- The Team Physician is a Sports Medicine Physician  
Speaker：Brian C. Halpern（Chief Emeritus, Primary Care Sports Medicine- Hospital for Special Surgery）
- Lower Extremity Muscular Injuries in Team Sports: Evidence for Injury Prevention  
Speaker：Aaron Daniel Gray（University of Missouri）
- Return to Sport  
Speaker：Milton Kyle Smoot（American Medical Society for Sports Medicine, University of Kentucky）
- Musculoskeletal Ultrasound in USA: Evolution and Future Implications  
Speaker：Kentaro Onishi（University of Pittsburgh）

### シンポジウム11：9月19日(木) 16：20～17：50 A会場（2F／大ホール）

「サルコペニア肥満の定義と診断基準について」

（日本体力医学会/日本肥満学会/日本サルコペニア・フレイル学会合同シンポジウム）

座長：石井 好二郎（同志社大学スポーツ健康科学部），田村 好史（順天堂大学国際教養学部）

- 骨格筋の加齢変化とサルコペニア肥満 骨格筋の加齢変化と肥満の関連  
演者：渡邊 裕也（同志社大学スポーツ健康科学部）

2. 国立病院機構ネットワーク共同研究による2型糖尿病とサルコペニア  
演者：日下部 徹（国立病院機構京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部）
3. 我が国におけるサルコペニア肥満の位置付けと意義  
演者：田村 好史（順天堂大学大学院スポーツロジセンター・代謝内分泌内科学，順天堂大学国際教養学部グローバルヘルスサービス領域）
4. サルコペニア肥満合同ワーキンググループの目指すもの  
演者：石井 好二郎（同志社大学スポーツ健康科学部）

### シンポジウム12：9月19日(木) 16：20～17：50 B会場（3F/中ホール300）

「医療現場における運動療法の現状と運動指導者の立ち位置～医療法42条施設調査から～」

座長：下光 輝一（公益財団法人健康・体力づくり事業財団），川久保 清（共立女子大学）

1. 42条施設調査目的及び結果概要  
演者：川久保 清（共立女子大学）
2. 増大する生活習慣病によるイベント発症者への運動療法の効果～治療からリハビリへ～  
演者：木村 稔（関西医科大学健康科学センター）
3. 医療機関のコメディカルと連携しながら健康運動指導士が行う運動療法～リハビリから生活へ～  
演者：黒瀬 聖司（関西医科大学健康科学教室）
4. 地域における42条施設の運営と健康運動指導士の活用～病院から地元へ～  
演者：石井 慶太（医療法人慶友会健康増進施設K-FIT.）

### シンポジウム13：9月19日(木) 16：20～17：50 C会場（1F/大会議室102）

「子供の運動習慣・体力と脳の発達 -実験室と現場をつなぐ-」

座長：紙上 敬太（筑波大学），森田 憲輝（北海道教育大学岩見沢校）

1. 子供の運動習慣・体力が学力と認知機能に与える影響 - 研究動向と今後の課題 -  
演者：紙上 敬太（筑波大学）
2. 日本の子供の運動習慣・体力と学力および認知機能の関係 - これまでの研究成果と今後の課題 -  
演者：石原 暢（玉川大学脳科学研究所，日本学術振興会）
3. 子どもの運動習慣や体力は学級内での対話的活動と関連するのか？  
- ビジネス顕微鏡によるコミュニケーションの可視化データによる分析から -  
演者：中島 寿宏（北海道教育大学札幌校）
4. 小学生のボールゲームの一般戦術能力における創造性と認知機能の関係  
演者：奥田 知靖（北海道教育大学岩見沢校）

### シンポジウム14：9月20日(金) 09：00～10：30 A会場（2F/大ホール）

「体内時計を体力科学・スポーツ科学へ応用する-時間運動学的視点の重要性-」

座長：柴田 重信（早稲田大学先進理工学部），田中 茂穂（医薬基盤・健康・栄養研究所）

1. 時間運動学の基礎  
演者：柴田 重信（早稲田大学先進理工学部）
2. ヒトの体内時計と身体活動・運動パフォーマンスとの関連  
演者：高橋 将記（早稲田大学重点領域研究機構）
3. ヒト生物時計の特性を考慮した生体リズム調整法と実践例  
演者：山仲 勇二郎（北海道大学大学院教育学研究院生活健康学研究室）
4. 早朝空腹時の運動が24時間の脂肪酸酸化量に及ぼす影響  
演者：徳山 薫平（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構）

### シンポジウム15：9月20日(金) 09：00～10：30 B会場（3F/中ホール300）

「AI×疫学～体力科学分野への人工知能（AI）活用の実例とさらなる可能性～」

座長：永富 良一（東北大学大学院医工学研究科），山北 満哉（北里大学一般教育部）

1. AIを活用した子どもの動作発達評価の可能性  
演者：香村 恵介（静岡産業大学経営学部）
2. AIを活用したトレーニングメニュー提供の可能性  
演者：山田 実（筑波大学人間系）
3. AIを活用した次世代デジタルヘルスケアサービスの可能性  
演者：田淵 鳴利（アレグロスマート株式会社CEO）

4. IoT, ビックデータ, AIを活用したn-of-1研究の可能性－集団を対象としない疫学研究－  
演者：門間 陽樹（東北大学大学院医学系研究科）

#### シンポジウム16：9月20日(金) 09：00～10：30 C会場（1F／大会議室102）

「学融合による筋生物学研究の新たな展開」

座長：秋本 崇之（早稲田大学スポーツ科学学術院），深田 宗一郎（大阪大学大学院薬学研究科）

1. レジスタンス運動によるmTOR活性化を介した筋タンパク質合成促進メカニズム  
演者：小笠原 理紀（名古屋工業大学）
2. 骨格筋の適応と筋サテライト細胞  
演者：深田 宗一郎（大阪大学大学院薬学研究科）
3. アンドロゲンによる骨格筋制御機構メカニズム  
演者：今井 祐記（愛媛大学プロテオサイエンスセンター）
4. バイオイメーキング科学の筋細胞研究への応用  
演者：狩野 豊（電気通信大学脳・医工学研究センター）

#### シンポジウム17：9月20日(金) 09：00～10：30 D会場（2F／中ホール200）

「回復期の栄養摂取：消化機能及び食欲の視点から」

座長：福場 良之（県立広島大学人間文化学部健康科学科），宮下 政司（早稲田大学スポーツ科学学術院）

1. 運動後栄養摂取のタイミング－消化吸収の観点から再考察－  
演者：鍛島 秀明（県立広島大学健康科学科）
2. アスリートにおける運動誘発性食欲減退とその打開策  
演者：小島 千尋（国立スポーツ科学センター）
3. 運動後の効果的な栄養摂取方法の検討－胃運動と食欲の視点から－  
演者：藤平 杏子（早稲田大学，日本学術振興会）

#### シンポジウム18：9月20日(金) 14：00～15：30 D会場（2F／中ホール200）

「運動に豊かさを与える音・リズム・音楽－神経科学からのアプローチ－」

座長：征矢 英昭（筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター）

永松 俊哉（山野美容芸術短期大学）

1. グルーヴをもたらす音楽の特徴と応用  
演者：河瀬 論（大阪大学大学院人間科学研究科）
2. 音楽に合わせた運動で高める前頭前野の実行機能  
演者：諏訪部 和也（筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター）
3. 認知症予防のための音楽体操の効果：御浜-紀宝プロジェクト  
演者：佐藤 正之（三重大学医学部附属病院認知症センター）
4. 身体動作の計算論的理解に基づく音響による運動の支援と拡張  
演者：鈴木 健嗣（筑波大学システム情報系・筑波大学サイバニクス研究センター）

#### シンポジウム19：9月20日(金) 14：40～16：10 B会場（3F／中ホール300）

「大学卒業生追跡研究の現状と未来～体力科学の未来を築くエビデンスの発信～」

座長：八田 秀雄（東京大学大学院総合文化研究科），岡 浩一郎（早稲田大学スポーツ科学学術院）

1. コホート研究としての大学卒業生追跡研究の概要  
演者：澤田 亨（早稲田大学スポーツ科学学術院）
2. 順天堂大学同窓生研究～体格体力累加測定研究：J-Fit+ Study～  
演者：染谷 由希（順天堂大学）
3. 東京大学体力テスト研究（UTokyo Fitness Study）  
演者：笹井 浩行（東京大学大学院総合文化研究科）
4. WASEDA'S Health Study  
演者：谷澤 薫平（早稲田大学スポーツ科学学術院）

#### シンポジウム20：9月20日(金) 14：40～16：10 C会場（1F／大会議室102）

「さまざまな動物モデルから覗く骨格筋可塑性の謎」

座長：武政 徹（筑波大学），北岡 祐（神奈川大学）

1. ゼブラフィッシュを用いた骨格筋の形成・維持の研究およびその破綻による疾患  
演者：平田 普三（青山学院大学）
2. Notchを基軸とした筋可塑性制御基盤の構築－遺伝子改変マウスを用いた解析－  
演者：藤巻 慎（熊本大学発生医学研究所筋発生再生分野）
3. 冬眠中のツキノワグマはどのように骨格筋機能を維持しているのか？  
演者：宮崎 充功（北海道医療大学）
4. 哺乳動物のサイズ、姿勢・行動様式と骨格筋の細胞特性  
演者：宮田 浩文（山口大学農学部生物機能科学科）

### シンポジウム21：9月20日(金) 15：50～17：10 A会場（2F／大ホール）

「世界に挑戦するアスリートのための医・科学サポート体制」

座長：白木 仁（筑波大学体育系），福田 崇（筑波大学体育系）

1. 世界に挑戦するアスリートのための医・科学サポート体制  
演者：湯田 淳（日本女子体育大学，公益財団法人日本スケート連盟）
2. 怪我を負ってから金メダルへの道  
演者：菊池 彩花（富士急行）
3. 平昌オリンピック スピードスケートメディカルサポート～障害・外傷の予防と管理，そして強化へ～  
演者：村上 成道（相澤病院スポーツ疾患センター）
4. 世界に挑戦するアスリートのための医・科学サポート体制  
演者：福田 崇（筑波大学）

### シンポジウム22：9月20日(金) 16：20～17：50 B会場（3F／中ホール300）

「身体活動の普及戦略－最新のエビデンスと研究の実際－」

座長：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学講座），鎌田 真光（東京大学大学院医学系研究科）

1. マーケティングに基づく地域介入とゲーミフィケーション・アプリ  
－世界初のクラスター RCT（鳥根県雲南市）と「パ・リーグウォーク」の事例より  
演者：鎌田 真光（東京大学大学院医学系研究科）
2. 都市部における地域全体への多面的介入：ふじさわプラス・テン（神奈川県藤沢市）の取り組み  
演者：齋藤 義信（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科・スポーツ医学研究センター）
3. 住民による「運動の場づくり」が地域全体の高齢者の運動習慣に与える効果  
－ポピュレーションアプローチによる「運動格差」縮小に挑む－  
演者：甲斐 裕子（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所）
4. スクエアステップの普及と橋渡し研究  
演者：重松 良祐（三重大学教育学部）

### シンポジウム23：9月20日(金) 16：20～17：50 C会場（1F／大会議室102）

「女性アスリートの育成・支援に関する諸問題とその解決に向けて」

座長：須永 美歌子（日本体育大学），相澤 勝治（専修大学）

1. 低用量エストロゲン・プロゲステン製剤服用に伴う女性アスリートのコンディション及びパフォーマンスへの影響  
演者：中村 真理子（国立スポーツ科学センター）
2. 女性アスリートの三主徴に関する調査結果  
演者：能瀬 さやか（東京大学医学部附属病院女性診療科・産科女性アスリート外来）
3. 女性球技アスリート（バスケットボール）のための新たな傷害予防システムの提案：膝傷害発生リスク判別ツールの開発とオーダーメイド型傷害予防プログラムの提言  
演者：栗原 俊之（立命館大学総合科学技術研究機構）
4. 女性アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防の両立を目指したトレーニングプログラムの開発と普及・啓発～女性アスリートのトレーナビリティと下肢傷害発生の危険因子の関連性を探る～  
演者：下河内 洋平（大阪体育大学）

### シンポジウム24：9月20日(金) 16：50～18：20 D会場（2F／中ホール200）

「運動が脳にもたらす効果：神経－代謝連関からの理解を目指して」

座長：安藤 創一（電気通信大学大学院情報理工学研究科），橋本 健志（立命館大学スポーツ健康科学部）

1. セントラルコマンド機能を生成する脳幹神経と神経伝達物質  
演者：木場 智史（鳥取大学医学部生理学講座統合生理学分野）
2. 運動-認知インタラクションの神経機構：脳グリコーゲンの役割  
演者：松井 崇（筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター）
3. 運動による脳内ドーパミンと神経活動の変化：認知パフォーマンスへの効果  
演者：安藤 創一（電気通信大学）
4. 運動による認知パフォーマンスの亢進と脳代謝  
演者：橋本 健志（立命館大学スポーツ健康科学部）

### シンポジウム25：9月21日(土) 09：00～10：30 A会場（2F／大ホール）

「低酸素トレーニングはどこまで進化したか？：最新の知見と新たな挑戦」

座長：後藤 一成（立命館大学），荻田 太（鹿屋体育大学）

1. 低酸素環境下でのスプリントトレーニングの効果-競技現場での実践に向けたエビデンスの構築-  
演者：笠井 信一（国立スポーツ科学センター）
2. 低酸素環境で行う運動による認知疲労とそのメカニズム  
演者：越智 元太（筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター）
3. 競技力向上を目指した競泳競技における低酸素トレーニング  
演者：荻田 太（鹿屋体育大学）
4. 低酸素トレーニングに関わる新たな試み  
演者：後藤 一成（立命館大学スポーツ健康科学部）

### シンポジウム26：9月21日(土) 09：00～10：30 C会場（1F／大会議室102）

「行動文脈や状況に応じて変化する視覚のダイナミクス」

座長：小見山 高明（大阪大学全学教育推進機構スポーツ脳情報科学研究室）

相馬 祥吾（京都府立医科大学大学院医学研究科細胞生理学）

1. 運動がもたらす視覚ダイナミクス  
演者：小見山 高明（大阪大学全学教育推進機構スポーツ脳情報科学研究室）
2. 視覚刺激検出能に対するセロトニン修飾作用とその神経機序  
演者：佐藤 彰典（大阪大学大学院生命機能研究科スポーツ脳情報科学研究室）
3. 視覚皮質アセチルコリンによるコントラスト感度の調節  
演者：相馬 祥吾（京都府立医科大学大学院医学研究科細胞生理学）

### シンポジウム27：9月21日(土) 10：10～11：40 B会場（3F／中ホール300）

「日本体力医学会における運動療法ガイドライン策定に向けた取り組み」

座長：勝村 俊仁（戸田中央総合病院），永富 良一（東北大学）

1. 日本体力医学会の運動療法ガイドラインに向けた今後の取り組み  
演者：永富 良一（東北大学）
2. 日本体力医学会としての「脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート」改定への参画  
演者：小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター，慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）
3. 日本動脈硬化学会における運動療法に対する取り組み  
演者：宮下 政司（早稲田大学スポーツ科学学術院）
4. 健康づくりのための身体活動基準2013の改定と運動療法ガイドライン  
演者：宮地 元彦（医薬基盤・健康・栄養研究所）

### シンポジウム28：9月21日(土) 10：40～12：10 D会場（2F／中ホール200）

「運動とタウリン研究の最前線～その多彩な生理作用に迫る～」

座長：大森 肇（筑波大学体育系運動生化学領域）

八田 秀雄（東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学）

1. N-acetyl-taurineの生成を介した骨格筋エネルギー代謝調節機構  
演者：宮崎 照雄（東京医科大学茨城医療センター）
2. タウリン欠乏と運動機能及び骨格筋老化との関連：タウリントランスポーターノックアウトマウスからの知見  
演者：伊藤 崇志（福井県立大学）

- 経口タウリン摂取が高強度レジスタンス運動後の動脈機能へ及ぼす影響～ヒト試験による検証～  
演者：羅 成圭（福岡大学スポーツ科学部）
- 運動時の疲労および運動後の疲労回復に対するタウリン摂取の効果  
演者：高橋 祐美子（東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学）

**スポンサードシンポジウム（協賛：大塚製薬株式会社）**

**9月21日（土）09：00～10：30 D会場（2F／中ホール200）**

「我が国の熱中症予防の取り組みと今後の課題」

ファシリテーター：渡部 厚一（筑波大学）

コメンテーター：三宅 康史（帝京大学）

- 熱中症予防声かけプロジェクトの取り組み  
演者：岡田 花子（熱中症予防声かけプロジェクト事務局）  
三宅 康史（帝京大学）
- スポーツにおける熱中症予防と競技力向上のための身体冷却  
演者：長谷川 博（広島大学大学院総合科学研究科）

**ワークショップ1：9月20日（金）15：00～15：40 I会場（4F／小会議室405）**

「要介護化抑制のためのスマートエクササイズ」

大月 直美（株式会社THF）

**ワークショップ2：9月20日（金）15：50～16：30 I会場（4F／小会議室405）**

「認知症予防を期待した脳トレ」

坂下 みどり（こころとからだの介護予防協会）

**ワークショップ3：9月20日（金）16：40～17：20 I会場（4F／小会議室405）**

「骨盤底筋のためのスマートなエクササイズと正しい腹式呼吸法」

南方 和美（naturally）

**ワークショップ4：9月20日（金）17：30～18：10 I会場（4F／小会議室405）**

「スポーツ障害予防のためのトレーニング方法～競技特異的動作パフォーマンスの向上に対するアプローチ方法～」

谷川 聡（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

**ワークショップ5：9月21日（土）10：40～11：40 C会場（1F／大会議室102）**

座長：山崎 正志（筑波大学）

「アスリートへの一気通貫型リハビリテーションの構築と運動器疾患への応用」

演者：森 利雄（筑波大学附属病院，つくばスポーツ医学健康科学センター）

**モーニングセミナー：9月21日（土）09：00～10：00 B会場（3F／中ホール300）**

「サッカー女子日本代表のスポーツ医・科学の挑戦－過去3大会における取り組み－」

座長：宮川 俊平（筑波大学医学医療系）

- サッカー女子日本代表のスポーツ医・科学の挑戦－過去3大会における取り組み－  
演者：広瀬 統一（早稲田大学スポーツ科学学術院）  
中野 江利子（公益財団法人日本サッカー協会）

**イブニングセミナー1：9月20日（金）16：00～17：00 E会場（1F／大会議室101）**

座長：藤井 宣晴（首都大学東京）

「研究論文が良い学術雑誌に掲載されるようにするにはどうしたらよいか？」

演者：野坂 和則（Edith Cowan University（Australia））

**イブニングセミナー2：9月20日（金）17：10～18：10 E会場（1F／大会議室101）**

座長：菅原 順（国立研究開発法人産業技術総合研究所），片山 敬章（名古屋大学）

「パネルディスカッション 「海外での研究」を考える －留学TIPS－」

パネリスト：稗田 睦子（豊橋技術科学大学）  
樽味 孝（産業技術総合研究所）  
水野 正樹（テキサス大学サウスウエスタン医学センター）

**日本体力医学会プロジェクト研究の成果報告会**  
**9月20日(金) 15:40~16:40 D会場 (2F/中ホール200)**

「プロジェクト研究成果報告会」

座長：須田 和裕（学術委員会プロジェクト研究委員長，東京工業大学）  
碓井 外幸（学術委員長，東京国際大学）

1. 女性アスリートにおける股関節回旋と膝前十字靭帯損傷との関連性に関する研究における学術的背景ならびに研究の目的  
演者：安田 義（神戸市立医療センター中央市民病院）
2. 性差，スポーツ種目の違いによる股関節回旋と膝前十字靭帯損傷との関連性について  
演者：中垣 美優（神戸市立医療センター中央市民病院）
3. 性差と股関節内旋優位，外旋優位の違いが両足着地drop-landing動作に与える影響について  
演者：小柳 圭一（神戸市立医療センター中央市民病院）

**JPFMSM & ECSS Session 1：9月19日(木) 16:20~17:00 D会場 (2F/中ホール200)**

Chair：Ryoichi Nagatomi（Tohoku University）

1. You are as fast as your motor neurons: Speed of recruitment and maximal discharge of motor neurons determine the maximal rate of force development in humans  
Speaker：Alessandro Del Vecchio（Imperial College London）
2. [OE1-1D-02] Anti-inflammatory Effects of Sulforaphane on Lipopolysaccharide-induced Macrophages  
Speaker：Ruheea Taskin（Graduate School of Sport Sciences, Waseda University）
3. [OE1-1D-03] TIME-MOTION ANALYSIS OF ELITE MALE PENCAK SILAT FIGHTERS  
Speaker：Pang Joel（SINGAPORE SPORT INSTITUTE）

**JPFMSM & ECSS Session 2：9月19日(木) 17:00~17:40 D会場 (2F/中ホール200)**

Chair：Naoto Fujii（University of Tsukuba）

1. Blood flow restriction combined with low-load resistance-type exercise increases myofibrillar protein synthesis rates in young men  
Speaker：Jean Nyakayiru（INUTRIM, School of Nutrition and Translational Research in Metabolism, Maastricht University Medical Centre+, Maastricht, the Netherlands）
2. [OE2-1D-02] Cerebrovascular Impedance in Middle-aged Endurance Athletes  
Speaker：菅原 順（産業技術総合研究所）
3. [OE2-1D-03] Effects of an 8-week combination of treadmill training and diets of different macronutrients on endurance exercise capacity  
Speaker：馬 思慧（早稲田大学スポーツ科学研究科）

**JPFMSM & ECSS Session 3：9月19日(木) 17:40~18:30 D会場 (2F/中ホール200)**

Chair：Masashi Miyashita（Waseda University）

1. Understanding the role of sedentary behaviour within the triad of physical activity, cardiometabolic function and cognition  
Speaker：Michael John Wheeler（University of Western Australia）
2. [OE3-1D-02] Measurement Accuracy of Consumer Sleep Tracking Wristbands is Associated to User-Specific Factors  
Speaker：梁 滋ルー（京都先端科学大学）
3. [OE3-1D-03] Social Frailty and Physical Activity in Older Adults: Literature Review  
Speaker：Park Chae-Hee（Korea National Sport University）
4. [OE3-1D-04] Exploring the knowledge-behaviour-attitude model in athletes - A pilot study  
Speaker：Teo Cheryl（Singapore Sport Institute）

**ランチョンセミナー1：9月19日(木) 12:00~13:00 A会場 (2F/大ホール)**

座長：宮下 政司 (早稲田大学スポーツ科学学術院)

「時間栄養学・時間運動学の体力科学への応用とメタボローム活用の可能性」

演者：高橋 将記 (早稲田バイオサイエンスシンガポール研究所, 早稲田大学重点領域研究機構)

協賛：ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

**ランチョンセミナー2：9月19日(木) 12:00~13:00 B会場 (3F/中ホール300)**

座長：宮地 元彦 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

国立健康・栄養研究所身体活動研究部部長)

「体重管理における身体活動・運動と栄養の役割」

演者：中田 由夫 (筑波大学体育系)

協賛：株式会社明治

**Lunchon Seminar 3：9月19日(木) 12:00~13:00 C会場 (1F/大会議室102)**

Chair：Hideaki Soya (University of Tsukuba)

「Human adult neurogenesis as a mechanism of brain plasticity in physiology and pathology」

Speaker：María Llorens-Martín (Centro de Biología Molecular “Severo Ochoa”, CSIC-UAM, Madrid (Spain))

Sponsored by Nippon Pharmaceutical

**Lunchon Seminar 4：9月19日(木) 12:00~13:00 D会場 (2F/中ホール200)**

Chair：Hiroyuki Sasai (University of Tokyo)

「Human energy metabolism and its impacts on health and diseases」

Speaker：Kong Yin Chen (National Institutes of Health, Bethesda, Maryland, USA)

Sponsored by Acti Japan

**ランチョンセミナー5：9月20日(金) 12:00~13:00 A会場 (2F/大ホール)**

座長：田畑 泉 (立命館大学スポーツ健康科学部)

「乳がんサバイバーに対して身体活動を高く維持することは勧められるか?」

演者：松岡 豊 (国立がん研究センター社会と健康研究センター)

協賛：健康運動指導士養成大学全国連絡協議会

**ランチョンセミナー6：9月20日(金) 12:00~13:00 B会場 (3F/中ホール300)**

大塚スポーツ医・科学賞 受賞講演

奨励賞：高強度間欠運動を実施するタイミングが高糖質飲料摂取後の血管内皮機能に及ぼす影響

西谷 菜津美 (筑波大学)

特別賞：低強度運動時の海馬グリコーゲン代謝とドーパミン作動性調節：マイクロダイアリシスによるDA放出の検討

松井 崇 (筑波大学運動生化学)

協賛：大塚製薬株式会社

**ランチョンセミナー7：9月20日(金) 12:00~13:00 C会場 (1F/大会議室102)**

「若手研究者による開発研究 ～乳酸菌B240～」

演者：羽室 浩爾 (大塚製薬株式会社天津栄養製品研究所)

協賛：大塚製薬株式会社

**持久走大会表彰式・Meet The Legend：9月21日(土) 11:40~12:10 B会場 (3F/中ホール300)**